

総合計画政策評価帳票
(様式2-1)施策評価シート

【施策概要】

施策名	産地の戦略的な競争力強化と高収益型農林水産業への転換		施策主務課	農林水産部農林水産政策課		施策コード	Ⅲ-4-①	
総合計画の位置づけ	Ⅲ 経済の活性化と交流基盤の整備			4 豊かな生活を支える食と緑づくり				
施策目標(定性目標)	力強い農林水産業の確立により、「農林水産王国・千葉」の復活を目指します。 農林漁業者の所得向上を図ります。							
社会目標(定量目標)	農業産出額			漁業・養殖業の県内漁港への水揚金額				
予算額と決算額	年度	29年度		30年度		31年度		32年度
	予算額(千円)	24,697,661		26,102,103				
	決算額(千円)	22,139,591						
施策内の主な取組	取組名			29年度予算額(千円)		29年度決算額(千円)		
	1 国内外の競争に打ち勝つ力強い産地づくり			5,988,935		4,178,549		
	2 県産農林水産物の販売促進と戦略的な輸出拡大			520,737		329,346		
	3 農林水産業を支える多様な担い手の確保・育成			2,868,951		2,282,199		
	4 生産基盤の充実・強化			13,753,152		14,080,884		
	5 試験研究の充実			180,427		165,581		
	6 環境や資源に配慮した農林水産業の推進			1,385,459		1,103,032		
	施策計			24,697,661		22,139,591		

【目標の進捗状況】

社会目標 (最終outcome)	指標名						評価年度の進捗率※	指標名						評価年度の進捗率※
	農業産出額						未判明	漁業・養殖業の県内漁港への水揚金額						未判明
	目標設定時の現状値	28年	29年	30年	31年	32年	目標	目標設定時の現状値	28年	29年	30年	31年	32年	目標
	27年:全国4位 23~27年における中位3 箇年の平均:4,148億円	全国4位 4,711億円	30年12月 頃判明				全国2位 4,500億円	26年:全国4位 27年:503億円	31年2月 頃判明	32年2月 頃判明				全国3位 560億円

※太枠で囲んだ年度の数値は、目標設定時の現状値。 ※評価年度の進捗率=(評価年度の実績値-目標設定時の現状値)÷(評価年度の目安値-目標設定時の現状値) ※グラフ上の数値は端数処理により表記。

行政活動目標 及び 補助指標	進展度		
	(達成数/設定数) =	24 / 32	75.0%

【主な実施事項と成果】

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・県主要野菜の産地間連携や乾燥調製施設等の機能強化、スマート農業やGAP[※]の導入支援、家畜の飼養技術の改善、森林経営計画の策定や漁業に資する製氷工場などの共同利用施設に対する補助、計画的な種苗放流などにより、力強い産地づくりを推進しました。その結果、「東京都中央卸売市場における本県産主要野菜7品目の販売金額」は15億円増加、「高収益型園芸施設の新規導入面積」は約6割増加しました。 ・県内量販店やタイ王国における知事のトップセールス、千葉県フェアや商談会の開催などにより国内外の販路拡大を図るとともに、農林漁業者等の6次産業化の取組を発展段階に応じて支援するなど、戦略的な販売促進を行いました。 ・効率的かつ安定的な農業経営が営めるよう、担い手への農地集積を促進するとともに、新規就業促進や就業後の定着、経営感覚の育成などを目的とした各種研修・交流会等を実施しました。さらに、スマート農業導入推進に係る現状や課題の整理など、各種取組により担い手の育成・確保を図りました。 ・戦略的な産地強化と高収益型農林水産業への転換のため、更なる飛躍を目指し、平成30年度から4年間を期間とする新たな農林水産業振興計画を策定しました。 <p>※GAP (Good Agricultural Practice; 農業生産工程管理) : 食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のことで。</p>
-----------	--

【要因分析】

社会目標の 要因分析	農業産出額	平成28年については、4,711億円であり、前年より306億円増加しました。全国順位は、目標の全国第2位には上ならず、全国第4位となりました。主な原因として、本県の米や野菜等の農業産出額は増加したものの、上位他県も野菜や畜産分野などが同様に増加したことから、順位の逆転にはわずかに及びませんでした。
	漁業・養殖業の県内漁港への水揚げ金額	平成27年については、503億円であり、前年より87億円減少しました。これに伴い全国順位は第4位から第8位に下がりました。主な原因は本県海面漁業の主要な魚種であるカタクチイワシ、サバの水揚げが資源変動により減少したことによるものです。

【課題】

要因分析を 踏まえた 目標達成等に 必要な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生産基盤の強化や省力化技術の普及とともに、作業工程の一部について外部組織と連携することなどにより産地の生産力の維持・発展を図ることが必要です。 ・水産資源の適切な管理とつくり育てる漁業を推進し、水産資源の維持増大を図ることが重要です。 ・激化する国内外の産地間競争に打ち勝つため、大口需要に対応した生産体制の構築、県産農林水産物の高付加価値化やイメージアップ、需要拡大を図ることが必要です。 ・新たな担い手の確保や経営感覚に優れた担い手の育成を図ることが必要です。
----------------------------------	--

【取組方針】

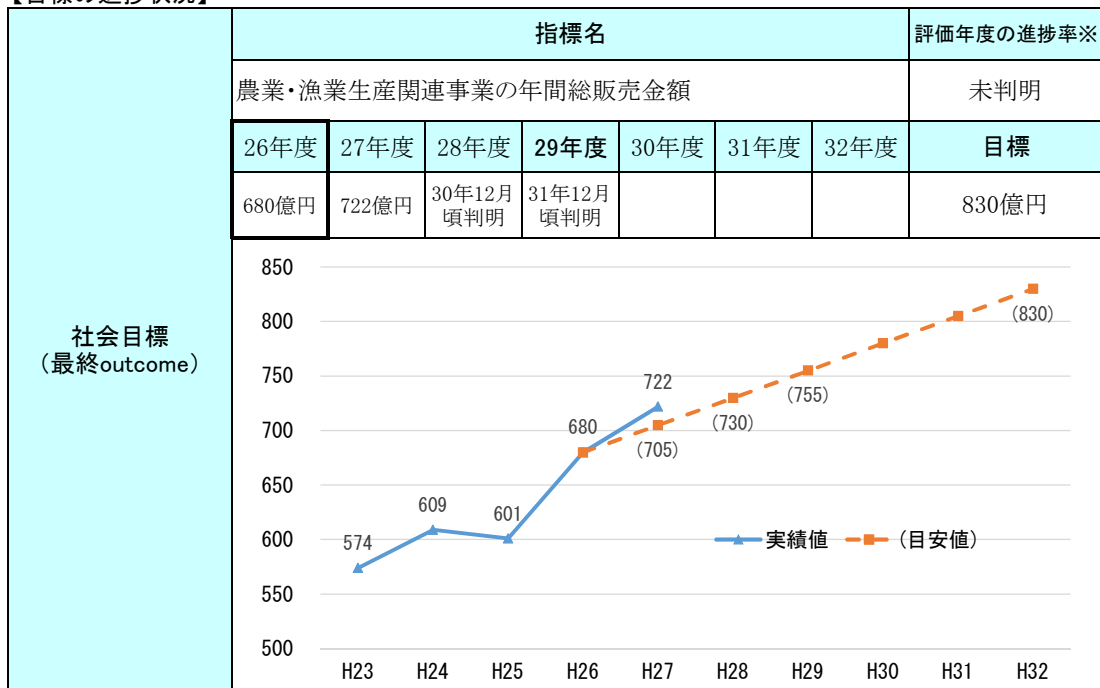
課題を踏まえた 具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・農業では、県主要野菜の産地間連携の強化、スマート農業の導入支援やGAPの普及拡大、農地集積による担い手の経営規模拡大などにより力強い産地づくりを推進します。 ・畜産業では、能力の高い家畜の導入や飼養技術の改善に取り組むほか、飼料生産拡大のための機械整備等を支援します。 ・林業ではコストの縮減を図るため、作業道等の路網整備や高性能林業機械の導入等に取り組みます。 ・水産業では、浜の活力再生プラン等に基づき、流通拠点漁港の機能強化など、生産力向上や付加価値向上に向けた取組により、水産業の収益力の向上を図ります。また、資源管理型漁業の推進や有用魚介類の種苗生産・放流を行うことで水産資源の維持・増大を図ります。 ・販売力の強化のため、6次産業化推進などによる付加価値向上、フェアや商談会の開催による販路拡大、輸出に取り組む生産者団体等への支援などを行います。 ・新たな担い手の定着のための相談体制や担い手の発展段階に応じた各種研修制度を充実させます。
-------------------	---

総合計画政策評価帳票
(様式2-1) 施策評価シート

【施策概要】

施策名	緑豊かで活力ある 農山漁村づくりの推進			施策主務課	農林水産部農林水産政策課	施策コード	Ⅲ-4-②
総合計画の位置づけ	Ⅲ 経済の活性化と交流基盤の整備			4 豊かな生活を支える食と緑づくり			
施策目標(定性目標)	都市と農山漁村の交流を促進し、地域が一体となった農山漁村の活性化を図ります。						
社会目標(定量目標)	農業・漁業生産関連事業の年間総販売金額			—			
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
	予算額(千円)	3,087,819	3,276,612				
	決算額(千円)	2,505,685					
施策内の主な取組	取組名			29年度予算額(千円)		29年度決算額(千円)	
	1 地域資源を活用した農山漁村の活性化			381,050		238,416	
	2 多様な人々の参画による農山漁村の多面的機能の維持・発揮			2,040,856		1,737,448	
	3 耕作放棄地と有害鳥獣被害への対策強化			665,913		529,821	
	施策計			3,087,819		2,505,685	

【目標の進捗状況】



※太枠で囲んだ年度の数値は、目標設定時の現状値。 ※評価年度の進捗率=(評価年度の実績値-目標設定時の現状値)÷(評価年度の目安値-目標設定時の現状値) ※グラフ上の数値は端数処理により表記。

行政活動目標 及び 補助指標	進展度		
	(達成数/設定数) =	9 / 11	81.8%

【主な実施事項と成果】

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン・ブルーツーリズムの推進を図るため、農林水産物直売所を対象とした研修会や農泊・民泊及び農林漁業体験等の受入拡大に向けた研修会を実施しました。また、「千葉県6次産業化サポートセンター」を設置・運営し、農林漁業者等からの相談対応等を通じ、農林漁業者等が主体的に取り組む新商品の開発や販路の開拓について取組の発展段階に応じた支援を行いました。 ・農山漁村の多面的機能の維持・発揮を図るため、農林漁業者や地域住民、企業等の参画による農地や農業用排水路などの保全管理、森林整備、藻場や干潟等の保全活動などに対して支援しました。農村部では、保全管理等に取り組む活動組織数は増えたものの、活動の面積が伸び悩みましたが、漁村では環境・生態系保全活動面積を着実に拡大させることができました。 ・野生鳥獣による農作物等の被害対策のため、市町村が行う捕獲事業に対する支援及び県による指定管理鳥獣(イノシシ及びニホンジカ)の捕獲、有害鳥獣の有効な防除に必要な調査・研究や捕獲の担い手の養成・確保などに関係機関・団体等と連携を図りながら取り組みました。また、捕獲したイノシシは、ジビエとして有効活用に取り組み、フェアを開催するなどジビエ料理の知名度向上を図りました。
-----------	---

【要因分析】

社会目標の 要因分析	農業・漁業生産関連事業の年間総販売金額	平成27年度については、722億円であり、前年度より42億円増加しました。6次産業化の推進に取り組んだ結果、農産物加工の取組が拡大したり、大型直売施設の開業など農産物直売所数が増加したことにより、販売金額が増加したものと考えられます。
---------------	---------------------	---

【課題】

要因分析を 踏まえた 目標達成等に 必要な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物の加工や農産物直売所などの販売金額は増加傾向にあることから、魅力ある地域産品を安定的に生産できるよう引き続き支援を行うとともに、教育旅行やインバウンドなどの新たな取組を推進し、都市等と農山漁村との交流を一層加速させる必要があります。 ・農地や森林、漁場の保全管理などを行う活動組織の広域化や組織の運営継続に対する支援などを実施し、農山漁村の多面的機能の維持・発揮を図ることが必要です。 ・耕作放棄地の解消に向け、生産基盤の整備等による耕作条件の改善や農業関係機関とのさらなる連携が必要です。 ・野生鳥獣の被害対策について、防護・捕獲・生息環境管理など一体的な取組が必要です。
----------------------------------	--

【取組方針】

課題を踏まえた 具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化に必要な知識習得のための人材育成研修会を開催するとともに、専門家派遣を通じた課題解決を図っていきます。 ・農林水産物直売所や農林漁業体験の受入者向け研修会の開催並びに教育旅行やインバウンドなどの新たな分野での研修会の開催等を推進します。 ・農山漁村の多面的機能の維持・発揮を図るため、土地改良区等関係機関との連携を強化し、農地や森林、漁場の保全管理等を行う活動組織の新規設立や活動面積の拡大を図ります。 ・耕作放棄地対策では、農家の負担が大きい再生作業や発生防止活動に対する支援とともに、農業委員会等との連携強化による地域での対策の推進などの取組について支援します。 ・野生鳥獣の被害対策については、地域ぐるみで行う対策を新たに実施するほか、被害が甚大で自主的に対策に取り組む機運がある地域をモデル地域に設定し、その成果を広域的に普及します。併せて、昨年度に引き続き、ジビエに関する講習会やフェアを開催するほか、新たにジビエ料理コンテストの開催などにより、捕獲した有害鳥獣の有効活用に取り組みます。
-------------------	---

平成29年度千葉県総合計画政策評価帳票（主な取組）

Ⅲ－４－①産地の戦略的な産地強化と高収益型農林水産業への転換

- 1 国内外の競争に打ち勝つ力強い産地づくり
- 2 県産農林水産物の販売促進と戦略的な輸出拡大
- 3 農林水産業を支える多様な担い手の確保・育成
- 4 生産基盤の充実・強化
- 5 試験研究の充実
- 6 環境や資源に配慮した農林水産業の推進

総合計画政策評価帳票
(様式2-2) 主な取組評価シート

取組名	1 国内外の競争に打ち勝つ力強い産地づくり		取りまとめ担当課	農林水産部農林水産政策課	取組コード	Ⅲ-4-①-1
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	5,988,935	5,785,673			
	決算額(千円)	4,178,549				

	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	補助指標 (中間outcome)	東京都中央卸売市場における本県産主要野菜7品目(ねぎ、トマト、さつまいも、にんじん、キャベツ、だいこん、きゅうり)の販売金額	23,917百万円 (24~28年における中位3箇年の平均)	24,874百万円 (29年度目標値)	25,388百万円 (29年度実績値)	
海面漁業・養殖業産出額		286億円 (27年度実績値)	289億円 (29年度目標値)	未判明 (31年4月頃判明)		未判明
行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	高収益型園芸施設の新規導入面積(累計)	461a (28年度実績値)	611a (29年度目標値)	735a (29年度実績値)		達成
	野菜及びいも類の産地間連携に取り組む農業協同組合数	30組合 (28年度実績値)	36組合 (29年度目標値)	36組合 (29年度実績値)		達成
	乾燥調製施設の新規導入及び機能強化の件数(累計)	1件 (28年度実績値)	3件 (29年度目標値)	3件 (29年度実績値)		達成

	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況																													
行政活動目標 (output)	飼料生産コントラクター数	40組織 (28年度実績値)	42組織 (29年度目標値)	43組織 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>飼料生産コントラクター数</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H23</td><td>29</td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td>32</td><td>31</td></tr> <tr><td>H25</td><td>36</td><td>33</td></tr> <tr><td>H26</td><td>39</td><td>37</td></tr> <tr><td>H27</td><td>40</td><td>40</td></tr> <tr><td>H28</td><td>43</td><td>42</td></tr> <tr><td>H29</td><td>43</td><td>42</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H23	29		H24	32	31	H25	36	33	H26	39	37	H27	40	40	H28	43	42	H29	43	42	達成					
	年度	実績値	目標値																																
	H23	29																																	
	H24	32	31																																
	H25	36	33																																
H26	39	37																																	
H27	40	40																																	
H28	43	42																																	
H29	43	42																																	
経産牛1頭当たりの年間乳量	8,903kg (27年度実績値)	8,940kg (29年度目標値)	9,024kg (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>経産牛1頭当たりの年間乳量</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>8,903</td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td>8,981</td><td>8,940</td></tr> <tr><td>H28</td><td>9,024</td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td>9,024</td><td></td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H26	8,903		H27	8,981	8,940	H28	9,024		H29	9,024		達成															
年度	実績値	目標値																																	
H26	8,903																																		
H27	8,981	8,940																																	
H28	9,024																																		
H29	9,024																																		
森林整備面積	974ha (28年度実績値)	1,100ha (29年度目標値)	783ha (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>森林整備面積</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>1,573</td><td></td></tr> <tr><td>H22</td><td>1,529</td><td>1,750</td></tr> <tr><td>H23</td><td>1,471</td><td>1,750</td></tr> <tr><td>H24</td><td>1,105</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>H25</td><td>813</td><td>1,170</td></tr> <tr><td>H26</td><td>958</td><td>1,285</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1,080</td><td>1,000</td></tr> <tr><td>H28</td><td>974</td><td>1,250</td></tr> <tr><td>H29</td><td>783</td><td>1,100</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H21	1,573		H22	1,529	1,750	H23	1,471	1,750	H24	1,105	1,500	H25	813	1,170	H26	958	1,285	H27	1,080	1,000	H28	974	1,250	H29	783	1,100	未達成
年度	実績値	目標値																																	
H21	1,573																																		
H22	1,529	1,750																																	
H23	1,471	1,750																																	
H24	1,105	1,500																																	
H25	813	1,170																																	
H26	958	1,285																																	
H27	1,080	1,000																																	
H28	974	1,250																																	
H29	783	1,100																																	
種苗放流対象魚種の放流数(マダイ・ヒラメ・アワビ)	2,996千尾・個 (28年度実績値)	3,540千尾・個 (29年度目標値)	3,736千尾・個 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>種苗放流対象魚種の放流数</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>4,201</td><td>3,420</td></tr> <tr><td>H23</td><td>3,311</td><td>3,420</td></tr> <tr><td>H24</td><td>3,839</td><td>3,420</td></tr> <tr><td>H25</td><td>3,967</td><td>3,420</td></tr> <tr><td>H26</td><td>3,815</td><td>3,420</td></tr> <tr><td>H27</td><td>3,709</td><td>3,540</td></tr> <tr><td>H28</td><td>2,996</td><td>3,540</td></tr> <tr><td>H29</td><td>3,736</td><td>3,540</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H22	4,201	3,420	H23	3,311	3,420	H24	3,839	3,420	H25	3,967	3,420	H26	3,815	3,420	H27	3,709	3,540	H28	2,996	3,540	H29	3,736	3,540	達成			
年度	実績値	目標値																																	
H22	4,201	3,420																																	
H23	3,311	3,420																																	
H24	3,839	3,420																																	
H25	3,967	3,420																																	
H26	3,815	3,420																																	
H27	3,709	3,540																																	
H28	2,996	3,540																																	
H29	3,736	3,540																																	
GAP※指導員数(累計) ※GAP(Good Agricultural Practice;農業生産工程管理):食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のことです。	22人 (28年度実績値)	59人 (29年度目標値)	62人 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>GAP指導員数</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>2</td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td>22</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td>62</td><td>59</td></tr> <tr><td>H29</td><td>62</td><td></td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H26	2		H27	22		H28	62	59	H29	62		達成															
年度	実績値	目標値																																	
H26	2																																		
H27	22																																		
H28	62	59																																	
H29	62																																		

<p>主な実施事項と 成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大口需要に対応するための県主要野菜の産地間連携や高収益型園芸施設の新規整備などを推進するとともに、稲作生産基盤の強化と更なる低コスト化のため、地域の中核となる農業者等に対し、乾燥調製施設の機能強化を実施しました。さらに、国際水準GAPの認証取得の足掛かりとなる「ちばGAP」の運用を平成30年2月から開始し、15件の認証を行いました。 ・畜産経営の安定を図るため、自給飼料の生産の拡大を推進するとともに、能力の高い家畜の導入や飼養技術の改善などに取り組みました。 ・森林組合等の森林経営計画の策定や作業道等の路網整備、間伐等の森林整備の実施に対し補助事業を実施しましたが、採算性が低く人材の確保も難しい中、森林整備面積の年度目標は未達成となりました。 ・漁業者の所得向上などを目指して地域が定めた「浜の活力再生プラン」の実現に向けて、製氷工場の整備などの支援をしました。また、計画的な種苗放流などにより水産資源の維持増大を図り、沿岸漁家の収益の底上げに貢献しました。
<p>取組推進に 当たったの 問題点等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者の高齢化や担い手不足などにより、産地の生産力が低下しています。 ・GAPについては、生産者が記帳などの作業や経費増加などを負担と感じています。 ・畜産業ではコントラクター組織の立ち上げや継続に必要となる、機械の整備やオペレーター[※]の確保が十分に行われたい状況があります。 ・林業では、木材価格の低迷が続いているため、間伐材を木材として販売しても、十分な収益の確保が難しい状況です。 ・水産業では、漁船等の設備の老朽化のほか、水産資源の減少の影響も受けています。 <p>※オペレーター:飼料生産に使用する機械の操作者のことです。</p>
<p>問題点を踏まえた 目標達成等に 必要な課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産地の生産力の維持・発展のためには生産基盤の強化や省力化技術の普及、作業の外部化が必要です。 ・農業では、県主要野菜について、大口需要に対応した生産体制の構築をさらに推進していく必要があります。また、農業者・産地等におけるGAPの理解促進と取組支援が必要です。 ・林業では収益性の向上のため、木材の伐採や搬出、再造林等のコストの縮減が必要です。 ・水産業では、漁業・養殖業の省力化・低コスト化につながる生産体制づくり、付加価値の向上などにより、水産業の収益力を向上させることが重要です。また、水産資源の適切な管理や有用魚介類の種苗放流等の推進も重要です。
<p>課題を踏まえた 具体的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸農業や水田農業などでは、引き続き県主要野菜の産地間連携やスマート農業[※]導入支援、高収益型施設の整備などにより力強い産地づくりを推進します。また、GAPの普及拡大により経営改善や生産の効率化などを図ります。 ・畜産業では、能力の高い家畜の導入や飼養技術の改善に取り組むほか、飼料生産拡大のための機械整備等を支援します。 ・林業ではコストの縮減を図るため、作業道等の路網整備や高性能林業機械の導入、高い技術を有する人材の育成等に取り組めます。 ・水産業では、今後も浜の活力再生プラン及び浜の活力再生広域プランに基づいた生産力向上や付加価値向上に向けた取組や施設整備を支援することで水産業の収益力の向上を図ります。また、資源管理型漁業の推進や有用魚介類の種苗生産・放流を行うことで水産資源の維持・増大を図ります。 <p>※スマート農業:省力化や高生産化を図るため、ロボット技術やICT等の先端技術を活用した農業のことです。</p>

総合計画政策評価帳票
(様式2-2) 主な取組評価シート

取組名	2 県産農林水産物の販売促進と戦略的な輸出拡大		取りまとめ担当課	農林水産部農林水産政策課	取組コード	Ⅲ-4-①-2
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	520,737	684,850			
	決算額(千円)	329,346				

	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況																											
	補助指標 (中間outcome)	県産農林水産物の輸出に取り組む事業者・生産者団体数(累計)	46社・団体 (28年度実績値)	50社・団体 (29年度目標値)	71社・団体 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>補助指標 グラフデータ</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>48</td><td></td></tr> <tr><td>H23</td><td>33</td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td>30</td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td>33</td><td>33</td></tr> <tr><td>H26</td><td>47</td><td>36</td></tr> <tr><td>H27</td><td>46</td><td>39</td></tr> <tr><td>H28</td><td>46</td><td>40</td></tr> <tr><td>H29</td><td>71</td><td>50</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H22	48		H23	33		H24	30		H25	33	33	H26	47	36	H27	46	39	H28	46	40	H29	71	50
年度	実績値	目標値																															
H22	48																																
H23	33																																
H24	30																																
H25	33	33																															
H26	47	36																															
H27	46	39																															
H28	46	40																															
H29	71	50																															
行政活動目標 (output)	千葉県フェアの実施(累計)	1,771日 (28年度実績値)	1,800日 (29年度目標値)	1,810日 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>行政活動目標 グラフデータ</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td>1,771</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td></td><td>1,800</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1,810</td><td></td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H26			H27	1,771		H28		1,800	H29	1,810		達成												
	年度	実績値	目標値																														
	H26																																
	H27	1,771																															
H28		1,800																															
H29	1,810																																
商談会等における商談機会の設定	260件 (28年度実績値)	280件 (29年度目標値)	281件 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>行政活動目標 グラフデータ</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td>260</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td></td><td>280</td></tr> <tr><td>H29</td><td>281</td><td></td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H26			H27	260		H28		280	H29	281		達成													
年度	実績値	目標値																															
H26																																	
H27	260																																
H28		280																															
H29	281																																
千葉県6次産業化サポートセンターによる相談対応件数	107件 (28年度実績値)	110件 (29年度目標値)	120件 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>行政活動目標 グラフデータ</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td>107</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td></td><td>110</td></tr> <tr><td>H29</td><td>120</td><td></td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H26			H27	107		H28		110	H29	120		達成													
年度	実績値	目標値																															
H26																																	
H27	107																																
H28		110																															
H29	120																																
県産木材の利用率	21.7% (28年度実績値)	23.0% (29年度目標値)	未判明 (30年9月頃判明)	<table border="1"> <caption>行政活動目標 グラフデータ</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H23</td><td>20.4</td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td>18.8</td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td>18.9</td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td>20.6</td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td>21</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td>21.7</td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td></td><td>23</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H22			H23	20.4		H24	18.8		H25	18.9		H26	20.6		H27	21		H28	21.7		H29		23	未判明	
年度	実績値	目標値																															
H22																																	
H23	20.4																																
H24	18.8																																
H25	18.9																																
H26	20.6																																
H27	21																																
H28	21.7																																
H29		23																															

	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況																														
行政活動目標 (output)	県産農林水産物の輸出を進める商談会・海外フェア	7回 (28年度実績値)	7回 (29年度目標値)	7回 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>商談会・海外フェアの実績と目標</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>H22</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>H23</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>H24</td><td>3</td><td>2</td></tr> <tr><td>H25</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>H26</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>H27</td><td>6</td><td>4</td></tr> <tr><td>H28</td><td>7</td><td>4</td></tr> <tr><td>H29</td><td>7</td><td>7</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H21	1	1	H22	1	2	H23	2	2	H24	3	2	H25	4	4	H26	4	4	H27	6	4	H28	7	4	H29	7	7	達成
年度	実績値	目標値																																		
H21	1	1																																		
H22	1	2																																		
H23	2	2																																		
H24	3	2																																		
H25	4	4																																		
H26	4	4																																		
H27	6	4																																		
H28	7	4																																		
H29	7	7																																		

主な実施事項と 成果	<ul style="list-style-type: none"> 販売促進月間を設け、卸売業者等と連携して県内や首都圏の量販店・百貨店で豊富な食材を揃えた千葉県フェアを開催しました。また、販路開拓を支援するため商談会の開催や大規模商談会への千葉県ブースの設置などを行いました。 「千葉県6次産業化サポートセンター」を設置・運営し、農林漁業者等からの相談対応等を通じ、農林漁業者等が主体的に取り組む新商品開発や販路の開拓を発展段階に応じて支援しました。 新たに輸出に取り組む生産者団体等への助成や海外でのフェアなどの取組を進めました。2月にタイで実施した知事トップセールスでは、タイ最大手の水産缶詰会社との会談や農水産物の試食会を開催し、取引業者やレストラン関係者などとの取引拡大につながりました。 県産木材の利用拡大には公共建築物の木造化、木質化による普及啓発が効果的であるため、県や市町村の建築担当職員を対象とした木造建築に関する講習を実施しました。
取組推進に 当たったの 問題点等	<ul style="list-style-type: none"> 市場流通を中心とする品目等では、量販店、加工・業務需要の拡大などにより大口需要への対応が必要となり、産地単独での販売が難しくなっています。また、消費者ニーズをとらえた販売を推進する必要があります。 商談会は出展事業者に認知されてきており、今後さらに、商談会への参加を希望する事業者等が増える状況にあります。 本県において6次産業化に新たに取り組む農林漁業者等は着実に増加しているところですが、事業開始後、想定通りの販路が確保できないなどの課題を抱える事例も散見されます。 原発事故の影響による一部の国・地域で続く輸入規制や農産物輸出に係る検疫条件等があります。また、輸出向け商品には物量・品質確保等が求められます。 公共木造建築物は、施設計画に必要な情報が少なく、必要となる木材の供給体制の整備も不十分です。
問題点を踏まえた 目標達成等に 必要な課題	<ul style="list-style-type: none"> 需要の大口化や量販店や業務・加工用等実需者のニーズに柔軟に対応できるよう戦略的な広域産地間連携の強化を図ることが重要です。 事業者に対し商談会開催の更なる周知徹底を図るとともに、参加者のニーズにあった商談会の設置及び支援を行う必要があります。 フォローアップ等により、6次産業化の取組で生じた経営安定に向けた課題解決を図っていく必要があります。 国やジェトロ等と連携の上、諸外国の最新の輸入規制や市場動向、輸出の現状を把握し、輸出の促進へ効果的につながるPRや輸出環境の整備を図ることが重要です。また、輸出に取り組む産地等を面的に一層拡大させ、物量を確保することが必要です。 公共木造建築物の施工事例を普及させるとともに、木材供給体制の整備を図る必要があります。
課題を踏まえた 具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> 広域産地間連携の強化、統一名称の使用やブランド認定によるイメージアップ等に取り組むほか、販売促進月間や県産農林水産物の出回りが多くなる時期を中心に卸売業者等と連携して千葉県フェアを開催することで、取引先の拡大を目指します。 バイヤー及び出展者それぞれの取り扱い品目・規模に応じたマッチングが可能な商談の機会を設けます。 6次産業化に必要な知識習得のための人材育成研修会を開催するとともに、専門家派遣を通じた農林漁業者等への助言等により課題解決を図っていきます。 輸出に取り組む生産者団体等が実施する販促活動や輸出環境の整備等に対して支援を行うとともに、輸出の拡大が見込まれる東南アジア地域を中心に引き続き海外でのプロモーション等に取り組みます。 公共木造建築物の事例集の配布や現地見学会の開催により施工事例の普及を図ります。また県営林で生産された木材を中心に、確実に木材を供給できる体制を整備します。

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	3 農林水産業を支える多様な担い手の確保・育成		取りまとめ担当課	農林水産部農林水産政策課	取組コード	Ⅲ-4-①-3
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	2,868,951	2,030,371			
	決算額(千円)	2,282,199				

	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況																														
	補助指標 (中間outcome)	ICT等技術導入実施者数(累計)	49者 (28年度実績値)	66者 (29年度目標値)	108者 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>ICT等技術導入実施者数(累計)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>49</td><td>66</td></tr> <tr><td>H29</td><td>108</td><td>66</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H26	49	66	H29	108	66	達成																				
年度	実績値	目標値																																		
H26	49	66																																		
H29	108	66																																		
行政活動目標 (output)	就農に向けた長期研修(6か月以上)受講者数	47人 (28年度実績値)	47人 (29年度目標値)	27人 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>就農に向けた長期研修(6か月以上)受講者数</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>25</td><td>47</td></tr> <tr><td>H22</td><td>31</td><td>47</td></tr> <tr><td>H23</td><td>30</td><td>47</td></tr> <tr><td>H24</td><td>28</td><td>47</td></tr> <tr><td>H25</td><td>32</td><td>47</td></tr> <tr><td>H26</td><td>35</td><td>47</td></tr> <tr><td>H27</td><td>46</td><td>47</td></tr> <tr><td>H28</td><td>45</td><td>47</td></tr> <tr><td>H29</td><td>27</td><td>47</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H21	25	47	H22	31	47	H23	30	47	H24	28	47	H25	32	47	H26	35	47	H27	46	47	H28	45	47	H29	27	47	未達成
	年度	実績値	目標値																																	
	H21	25	47																																	
	H22	31	47																																	
H23	30	47																																		
H24	28	47																																		
H25	32	47																																		
H26	35	47																																		
H27	46	47																																		
H28	45	47																																		
H29	27	47																																		
新規就業者向け研修受講者数	285人 (28年度実績値)	340人 (29年度目標値)	336人 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>新規就業者向け研修受講者数</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H23</td><td>210</td><td>340</td></tr> <tr><td>H24</td><td>254</td><td>340</td></tr> <tr><td>H25</td><td>386</td><td>340</td></tr> <tr><td>H26</td><td>355</td><td>340</td></tr> <tr><td>H27</td><td>285</td><td>340</td></tr> <tr><td>H28</td><td>336</td><td>340</td></tr> <tr><td>H29</td><td>336</td><td>340</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H23	210	340	H24	254	340	H25	386	340	H26	355	340	H27	285	340	H28	336	340	H29	336	340	未達成							
年度	実績値	目標値																																		
H23	210	340																																		
H24	254	340																																		
H25	386	340																																		
H26	355	340																																		
H27	285	340																																		
H28	336	340																																		
H29	336	340																																		
アグリトップランナー育成研修会	12回 (28年度実績値)	12回 (29年度目標値)	12回 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>アグリトップランナー育成研修会</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>11</td><td>12</td></tr> <tr><td>H22</td><td>11</td><td>12</td></tr> <tr><td>H23</td><td>11</td><td>12</td></tr> <tr><td>H24</td><td>11</td><td>12</td></tr> <tr><td>H25</td><td>11</td><td>12</td></tr> <tr><td>H26</td><td>11</td><td>12</td></tr> <tr><td>H27</td><td>11</td><td>12</td></tr> <tr><td>H28</td><td>12</td><td>12</td></tr> <tr><td>H29</td><td>12</td><td>12</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H21	11	12	H22	11	12	H23	11	12	H24	11	12	H25	11	12	H26	11	12	H27	11	12	H28	12	12	H29	12	12	達成	
年度	実績値	目標値																																		
H21	11	12																																		
H22	11	12																																		
H23	11	12																																		
H24	11	12																																		
H25	11	12																																		
H26	11	12																																		
H27	11	12																																		
H28	12	12																																		
H29	12	12																																		
集落営農組織数	333組織 (28年度実績値)	343組織 (29年度目標値)	336組織 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>集落営農組織数</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H23</td><td>246</td><td>343</td></tr> <tr><td>H24</td><td>261</td><td>343</td></tr> <tr><td>H25</td><td>264</td><td>343</td></tr> <tr><td>H26</td><td>300</td><td>343</td></tr> <tr><td>H27</td><td>333</td><td>343</td></tr> <tr><td>H28</td><td>336</td><td>343</td></tr> <tr><td>H29</td><td>336</td><td>343</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H23	246	343	H24	261	343	H25	264	343	H26	300	343	H27	333	343	H28	336	343	H29	336	343	未達成							
年度	実績値	目標値																																		
H23	246	343																																		
H24	261	343																																		
H25	264	343																																		
H26	300	343																																		
H27	333	343																																		
H28	336	343																																		
H29	336	343																																		

	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況															
行政活動目標 (output)	農地中間管理機構との連携を強化する団体数(累計)	19団体 (28年度実績値)	21団体 (29年度目標値)	27団体 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>連携を強化する団体数(累計)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>15</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>18</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>19</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>27</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H26	15	-	H27	18	-	H28	19	-	H29	27	21	達成
年度	実績値	目標値																			
H26	15	-																			
H27	18	-																			
H28	19	-																			
H29	27	21																			

主な実施事項と 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・各産地でICT等技術導入に係る課題調査を行い、導入が進んでいる水稻、施設野菜、畜産、花きの4分野について、スマート農業導入推進に係る現状や課題等を整理しました。 ・就農希望者を対象にした長期研修、定年帰農者やUターン帰農者向けのセミナー、水産業インターンシップ、新規参入者等が対象の交流会等を実施しましたが、新規就業者向け研修受講者数や独立・自営就農希望者向けの長期研修の受講者数は目標に達しませんでした。 ・重点支援対象11集落、推進対象38集落を設定し、集落営農組織の育成に向けその育成進捗を確認しながら支援を行いました。集落営農組織数は目標に達しませんでした。 ・効率的かつ安定的な農業経営が営めるよう、担い手への農地集積の促進に向け、農地中間管理機構※の本部や支部の人員を増員し、市町村等との現地推進体制を強化した結果、同機構と連携する団体数が増加しました。 <p>※農地中間管理機構：中間的受け皿として農地を借り受け、必要に応じて保土管理や条件整備を行い、担い手に貸し付ける事業を実施する機関のことです。</p>
---------------	---

取組推進に 当たった 問題点等	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業については、高額な機械が多く、機械や技術を単に導入しただけでは、コストのみが上昇し産地によっては所得の向上が見込まれないおそれがあります。 ・長期研修の受講者数が目標に達しなかったのは、近年、労働需要の増加により雇用情勢が改善しており、独立・自営就農希望者が減少していることが要因と考えられます。 ・林業事業体の経営基盤は脆弱で給与等労働条件が厳しく、新規雇用者の定着率も低いいため、林業の担い手は依然として不足しています。 ・漁業就業者の大部分を占める小型漁船漁業において、水産資源の減少などにより水揚げが低迷し、漁家経営が厳しいため新規就業者が定着しづらい状況です。これに伴い漁業協同組合の事業収入も増加せず、経営は厳しい状況です。 ・集落営農※については、既存組織の構成員の高齢化が進んでいます。 <p>※集落営農：集落内の農家が、農業生産の全部あるいは一部を共同で実施する営農のことです。</p>
-----------------------	---

問題点を踏まえた 目標達成等に 必要な課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業の推進については、農業所得の向上が見込まれるよう、各産地の生産状況に適した機械や技術の組合せ等を検討することが必要です。 ・新規就農者の定着が促進されるよう、長期研修や就農地域における研修、交流会等に加え、雇用就農先の農業法人等で収入を得ながら同時に技術習得を行う等、就業状況に応じた研修機会を確保し就農希望者へ提案することが必要です。 ・漁業未経験の新規就業者を対象とした技術研修や生活相談、設備の整備に対する支援など、指導を行う漁業者や漁業協同組合等と連携して実施し、定着を促すことが必要です。 ・集落営農については、既存の集落営農組織の改編及び統合により合理化を進め、地域の農業を担う集落営農組織を育成することが必要です。 ・農業協同組合、漁業協同組合とも、組合員減少等により、今後経営環境が更に厳しくなることも見込まれることから、経営基盤の強化が必要です。
-----------------------------	---

課題を踏まえた 具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業を推進するため、各技術を体系的に組み合わせモデル化した後、現地実証等を行い、地域への普及を図ります。 ・新規就業者の確保・育成を図るため、長期専門的研修から交流会まで様々な研修機会を提供して新規就業者の定着を推進します。また、国の事業等を活用して中核的漁業者の漁船の更新等を支援するなど、総合的に対策を講じます。 ・集落営農の推進については、推進地域における集落営農の取組を促進するため、新たに集落の地域リーダー向けの研修会を開催し、集落営農の取組を周辺地域へ波及を図ります。また、集落営農の合理化を進めるため、新たに設置した「ちば農業経営相談所」と連携して集落営農の法人化を推進します。 ・農業協同組合が進める収益構造の改善や組織再編等の自主的な取組を支援するための助言・指導を引き続き行い、将来にわたる経営の安定化を図ります。また、漁業協同組合に関しても経営基盤の強化のため、引き続き県漁連等の関係団体と連携して経営指導を行いながら、合併等の組織再編を促します。
-------------------	---

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	4 生産基盤の充実・強化		取りまとめ担当課	農林水産部農林水産政策課	取組コード	Ⅲ-4-①-4
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	13,753,152	15,240,034			
	決算額(千円)	14,080,884				

行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況																					
	水田のほ場整備率 (標準区画30アール以上)	56.4% (28年度実績値)	56.6% (29年度目標値)	56.7% (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>水田のほ場整備率 (2024-2029)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>55.5</td><td>55.7</td></tr> <tr><td>H25</td><td>55.7</td><td>55.9</td></tr> <tr><td>H26</td><td>55.8</td><td>56.0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>56.1</td><td>56.3</td></tr> <tr><td>H28</td><td>56.4</td><td>56.6</td></tr> <tr><td>H29</td><td>56.7</td><td>56.6</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H24	55.5	55.7	H25	55.7	55.9	H26	55.8	56.0	H27	56.1	56.3	H28	56.4	56.6	H29	56.7	56.6	達成
	年度	実績値	目標値																								
	H24	55.5	55.7																								
	H25	55.7	55.9																								
	H26	55.8	56.0																								
H27	56.1	56.3																									
H28	56.4	56.6																									
H29	56.7	56.6																									
水田の汎用化面積(累計)	—	125ha (29年度目標値)	160ha (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>水田の汎用化面積 (2026-2029)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H29</td><td>160</td><td>125</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H26	0	0	H27	0	0	H28	0	0	H29	160	125	達成							
年度	実績値	目標値																									
H26	0	0																									
H27	0	0																									
H28	0	0																									
H29	160	125																									
漁港施設の耐震・耐津波整備(累計)	—	1港 (29年度目標値)	1港 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>漁港施設の耐震・耐津波整備 (2026-2029)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H26	0	0	H27	0	0	H28	0	0	H29	1	1	達成							
年度	実績値	目標値																									
H26	0	0																									
H27	0	0																									
H28	0	0																									
H29	1	1																									
基幹水利施設(県営)の機能診断及び保全計画の策定割合	25.4% (28年度実績値)	27.6% (29年度目標値)	27.2% (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>基幹水利施設の機能診断及び保全計画の策定割合 (2027-2029)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>25.4</td><td>27.6</td></tr> <tr><td>H28</td><td>25.4</td><td>27.6</td></tr> <tr><td>H29</td><td>27.2</td><td>27.6</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H27	25.4	27.6	H28	25.4	27.6	H29	27.2	27.6	未達成										
年度	実績値	目標値																									
H27	25.4	27.6																									
H28	25.4	27.6																									
H29	27.2	27.6																									
国や県の事業を活用して耕作放棄地対策に取り組んだ地区数(累計)	22地区 (28年度実績値)	40地区 (29年度目標値)	37地区 (29年度実績値)	<table border="1"> <caption>耕作放棄地対策に取り組んだ地区数 (2027-2029)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>22</td><td>40</td></tr> <tr><td>H28</td><td>22</td><td>40</td></tr> <tr><td>H29</td><td>37</td><td>40</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H27	22	40	H28	22	40	H29	37	40	未達成										
年度	実績値	目標値																									
H27	22	40																									
H28	22	40																									
H29	37	40																									

<p>主な実施事項と成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・217haのほ場を整備した結果、千葉県内の整備面積は39,728haになりました。そのうち160haについては、水田の汎用化を図るため、暗渠排水の整備を行いました。また、老朽化が進み、日常点検で更新又は補修が必要な県営基幹水利施設について5施設の保全計画を策定しました。 ・漁港施設の耐震・耐津波整備について、1港目の対策工事が完了するとともに、2港目の工事に着手しました。
<p>取組推進に当たっての問題点等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者の高齢化や農産物価格の低迷などにより、地域農業の担い手が不足し、生産力が低下するとともに、農地や農業水利施設などの生産基盤の保全・管理に支障が出始めています。 ・県営基幹水利施設の保全計画の策定について、平成29年度に予定していた対象施設には、規模が大きく、調査に時間を要したものがあり、目標値を下回りましたが、機能診断は完了しており、全体としては、平成30年度の保全計画策定完了に向けて着実に進展しています。 ・担い手は耕作放棄地よりも、他の条件の良い農地を借りる傾向にあります。また、地域の農業の方向性についての合意形成に時間を要したことから、指標とした「国や県の事業を活用して耕作放棄地対策に取り組んだ地区数」は目標に届きませんでした。 ・漁業の生産力を支える漁港施設には、老朽化が進み、耐震性、耐津波性が十分に確保されていない施設があり、保全対策が急務となっています。
<p>問題点を踏まえた目標達成等に必要課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の大区画化と収益性の高い畑作物等の導入を図る汎用化に向けた生産基盤の整備を行うとともに、担い手へ農地を集積・集約することが必要です。また、老朽化が進む農業水利施設の計画的な保全対策が必要です。 ・耕作放棄地の解消に向けて関係機関との連携を図り、地域の機運を高めていくことが必要です。 ・耕作放棄地や耕作放棄地となるおそれのある狭小な農地、排水の悪い農地などの耕作条件を改善する等農地の生産基盤の強化が必要です。 ・拠点漁港等における耐震、耐津波の機能診断および老朽化に対する機能保全計画の策定を行った上で、必要な対策を明確化し事業を推進する必要があります。
<p>課題を踏まえた具体的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村や地元農家との話し合いを通じて地域の将来を見据えた営農計画を策定し、その実現に向けた生産基盤の整備を推進するとともに、土地改良区等の農業水利施設管理者と連携しながら、計画的な保全対策に取り組みます。 ・農家の負担が大きい再生作業や発生防止活動を支援するとともに、地域の耕作放棄地対策を推進する農業委員会等との連携を強化するなど、耕作放棄地の解消と発生防止に対する取組を引き続き支援します。 ・水産物の安定的な供給と競争力の強化を図るため、引き続き、拠点漁港整備事業等、水産基盤ストックマネジメント事業や市町村営漁港建設事業を推進します。

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	5 試験研究の充実		取りまとめ担当課	農林水産部農林水産政策課	取組コード	Ⅲ-4-①-5
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	180,427	924,865			
	決算額(千円)	165,581				

行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	新品種・新系統育成選抜数(累計)	57件 (28年度実績値)	58件 (29年度目標値)	59件 (29年度実績値)		達成
	試験研究成果普及課題数(累計)	2,545件 (28年度実績値)	2,595件 (29年度目標値)	2,596件 (29年度実績値)		達成
	試験研究成果発表会の参加者数	69人 (28年度実績値)	80人 (29年度目標値)	64人 (29年度実績値)		未達成
	外部資金を活用した研究課題数	70件 (28年度実績値)	63件 (29年度目標値)	73件 (29年度実績値)		達成

<p>主な実施事項と成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農林、畜産、水産の各総合研究センターにおいて、292の研究課題に取り組み、51の研究成果をホームページ上に公表しました。 ・研究成果を生産現場に普及定着させるため、県内各地で成果発表会を農林部門で8回、畜産部門で3回、水産部門で7回開催しましたが、「試験研究成果発表会の参加者数」は成果発表会1回当たりの平均が64名となり、目標には届きませんでした。なお、延べ参加者数は約1,200名であり、例年並みとなりました。 ・農林、畜産、水産部門では「落花生栽培の手引き(作物)」など計8種の技術指導資料等を作成しました。また、水産部門では、漁船の効率的な操業等に役立つ水温や潮流などの情報を漁業者等に定期的に配信しました。 ・ナシ、落花生などの県オリジナル品種の育成やマツノザイセンチュウ[※]抵抗性クロマツの選抜に取り組むとともに、ナシ「千葉K3号」、芝草「千葉G79号」の品種登録を行いました。 ・農林水産省が公募して効果的に試験研究を推進する事業(競争的資金)に9課題応募し、5課題が採択されました。 <p>※マツノザイセンチュウ: 松枯れの原因となる体長1mmに満たない線虫。カミキリムシに付着して運ばれるため、松枯れ被害が拡大します。</p>
<p>取組推進に当たった問題点等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する課題に対し限られた研究員、研究費で効率的な研究を行うため、部門、組織を超えた横断的な試験研究や、現場ニーズや行政施策につながる試験研究の課題化、より効果的な成果の普及定着が重要です。
<p>問題点を踏まえた目標達成等に必要課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現場での取組状況や現場に求められる内容、問題解決が必要な事項を共有するため、普及指導機関や行政機関との情報交換をより充実させることが必要です。 ・外部研究資金を積極的に獲得、活用し、国、他の研究機関や大学、民間企業との共同研究を引き続き推進します。 ・成果発表会について、産地での開催など農業者等が参加しやすい企画にするとともに、関係団体等と連携した情報伝達など、開催情報を対象者に確実に伝える方法を検討し、成果発表会参加者数の増加に努めます。
<p>課題を踏まえた具体的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研究体制の更なる充実、強化を図るため、農林総合研究センターでは、老朽化した施設を集約して本館を建替える工事を開始します。また、水産総合研究センター、畜産総合研究センターでは機能強化について検討を進めていきます。 ・研究課題の意思決定を迅速化し、効率的な協議体制の再構築と現場ニーズへの確実な対応を図ります。また、戦略的な施策遂行に必要な課題を設定するため、普及指導機関及び関係行政機関等との情報交換を行い、更なる連携に努めます。加えて、速やかな研究成果の普及定着に向け、効果的な広報、成果発表会の開催、普及組織との連携強化など研究推進体制の強化に取り組みます。

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	6 環境や資源に配慮した農林水産業の推進		取りまとめ担当課	農林水産部農林水産政策課		取組コード	Ⅲ-4-①-6		
予算額と決算額	年度	29年度		30年度		31年度		32年度	
	予算額(千円)	1,385,459		1,436,310					
	決算額(千円)	1,103,032							

行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	「環境にやさしい農業」研修会の参加者数(累計)	277人 (28年度実績値)	527人 (29年度目標値)	636人 (29年度実績値)		達成
	森林整備面積	974ha (28年度実績値)	1,100ha (29年度目標値)	783ha (29年度実績値)		未達成
	種苗放流対象魚種の放流数(マダイ・ヒラメ・アワビ)	2,996千尾・個 (28年度実績値)	3,540千尾・個 (29年度目標値)	3,736千尾・個 (29年度実績値)		達成

主な実施事項と 成果	<ul style="list-style-type: none"> ・施肥による環境への負荷等を抑制するため、県内39地点で土壌機能実態モニタリング調査等を実施し、その結果を農業事務所を通じて農業者等へ周知しました。 ・本県農業の持続的な発展を図るため、「ちばエコ農業[※]」及び有機農業の推進、エコファーマー[※]の認定促進、環境保全型農業直接支援対策の活用等により、「環境にやさしい農業」を推進しました。 ・「環境にやさしい農業」研修会(有機農業者研修会・交流会及びIPM[※]技術推進指導者研修会)の開催により、IPM技術の普及及び有機農業者の支援を行いました。 ・森林病害虫の防除や被害林伐採後の造林などにより、地球温暖化防止機能や災害防止機能等の森林の持つ様々な公益的機能の維持増進を図りましたが、多量の被害林伐採木の販売先の確保や担い手の確保が難しく、森林整備面積の年度目標は未達成となりました。 ・環境の影響や漁労の集中などにより枯渇しやすい水産資源の維持増大を図るため、マダイ1,119千尾、ヒラメ964千尾、アワビ1,653万個の計3,736千尾・個を放流しました。また漁業権や漁業許可等の漁業制度の運用により、漁業操業の秩序維持を図りました。
	<p>※ちばエコ農業:化学合成農薬と化学肥料を通常の栽培の2分の1以下に減らして栽培された農産物を「ちばエコ農産物」として認証する県独自の認証制度です。</p> <p>※エコファーマー:国の「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律」に基づき、土づくり、化学合成農薬や化学肥料の節減等の計画を作成し、知事の認定を受けた農業者のことです。</p> <p>※IPM: Integrated Pest Management の略称で総合的病害虫・雑草管理と訳されます。「病害虫の発生状況に応じて、化学合成農薬のみに頼らず、天敵(生物的防除)や粘着版(物理的防除)等の防除方法を適切に組み合わせ、環境への負荷を低減しつつ、病害虫の発生を抑制する防除体系です。</p>

<p>取組推進に 当たったの 問題点等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・品目によって取り組む技術の難易度が異なり、施設園芸品目や本県の主要品目で「ちばエコ農業」の普及が進まない状況です。また、「環境にやさしい農業」は農業の持続的な発展のために必要ですが、手間やコストがかかるため、生産者の高齢化などに伴い、取組が停滞しています。 ・森林病虫害の被害林面積は拡大しており、伐採や再造林が必要な箇所が今なお多く残されています。 ・マダイなどの種苗生産時に疾病による大量への死が発生することがあります。
<p>問題点を踏まえた 目標達成等に 必要な課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・取組が遅れている園芸品目を中心に栽培技術の普及啓発を行うとともに、エコファーマーや有機農業と一体的に推進し、取組産地を拡大することが必要です。 ・森林病虫害の被害林対策の面積を拡大するためには、被害木伐採により発生する多量の木材の適正な処理が課題となります。 ・疾病の予防など、安定的なマダイなどの種苗生産体制を確保していく必要があります。
<p>課題を踏まえた 具体的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設園芸産地におけるIPM技術など、収量・品質の向上やコスト低減など経営改善に結びつく栽培技術の普及と導入支援を行うとともに、環境保全型農業直接支援対策の活用等により、農業者の取組意欲の向上を図ります。 ・森林病虫害の被害林対策の拡充のため、伐採により発生する多量の木材について、木質バイオマス燃料等としての有効活用を図ります。 ・マダイなどの種苗の安定生産に向けて餌となる動物プランクトンなどを新鮮かつ安定的に投入できるよう生物餌料の培養改善等の技術開発を推進します。

Ⅲ－４－②緑豊かで活力ある農山漁村づくりの推進

- 1 地域資源を活用した農山漁村の活性化
- 2 多様な人々の参画による農山漁村の多面的機能の維持・発揮
- 3 耕作放棄地と有害鳥獣被害への対策強化

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	1 地域資源を活用した農山漁村の活性化		取りまとめ担当課	農林水産部農林水産政策課	取組コード	Ⅲ-4-②-1
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	381,050	395,798			
	決算額(千円)	238,416				

行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	グリーン・ブルーツーリズム施設関係者に対する研修会受講者数	339人 (平成25~28年度の平均)	350人 (29年度目標値)	352人 (29年度実績値)		達成
	千葉県6次産業化サポートセンターによる相談対応件数	107件 (28年度実績値)	110件 (29年度目標値)	120件 (29年度実績値)		達成
	6次産業化に取り組む人材育成のための研修会、交流会等への延べ参加者数	—	150人 (29年度目標値)	223人 (29年度実績値)		達成
	ちば食育ボランティア等の研修会の開催回数(累計)	45回 (28年度実績値)	57回 (29年度目標値)	57回 (29年度実績値)		達成

<p>主な実施事項と成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン・ブルーツーリズムの推進を図るため、農林水産物直売所対象の研修会や農泊・民泊及び農林漁業体験等の受入拡大に向けた研修会を実施するとともに、都市住民の農山漁村への来訪を促すため、パンフレットを1万部作成し、配布しました。 ・「千葉県6次産業化サポートセンター」を設置・運営し、農林漁業者等からの相談対応等を通じ、農林漁業者等が主体的に取り組む新商品の開発や販路の開拓の取組について発展段階に応じて支援しました。 ・県民の森の利用推進に向け、多様なイベントの開催等、利用者サービスの向上を図ったところ、利用者数は概ね昨年度並みの約93万人となりました。 ・「ちば食育ボランティア研修会(基本研修・スキルアップ研修)や地域食育活動交換会を開催し、食育活動を支援しました。 ・学校等で開催される魚料理教室への「おさかな普及員」の派遣や、PR冊子「新鮮まるごと千葉のさかな」の作成・配布を行い、食育及び魚食普及活動を行いました。
<p>取組推進に当たった問題点等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産物直売所、農林漁業体験施設等のグリーン・ブルーツーリズム施設の魅力向上や事業者の意識啓発が重要である中、教育旅行やインバウンド受入れなどの新たな対応も必要ですが、事例が少なく、試行錯誤で実施している状況が見られます。 ・平成23年3月の六次産業化・地産地消法の施行以降、6次産業化の市場規模も年々増加を続けているところですが、本県において6次産業化に新たに取り組む農林漁業者等は着実に増加し、事業開始後、課題等を抱える取組も出てきています。 ・ちば食育ボランティアは高齢化等により登録数が減少しています。新たなボランティアの加入も見られますが、知識、経験等が不足しています。
<p>問題点を踏まえた目標達成等に必要課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン・ブルーツーリズムの交流拠点の魅力向上、農林漁業体験の受入人材のスキルアップ等が必要です。また、教育旅行やインバウンドの受入れなどの新たなニーズについては、まだ、事例が少ないため、受入体制を強化していく必要があります。 ・6次産業化の取組で生じた課題解決を図っていく必要があります。 ・市町村やちば食育ボランティア及びサポート企業等と連携し活動促進を図る必要があります。
<p>課題を踏まえた具体的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産物直売所や農林漁業体験の受入者向け研修会の開催等を推進するとともに、近年ニーズが高まっている教育旅行やインバウンドなど新たな分野での研修会の開催等を推進します。 ・6次産業化に必要な知識習得のための人材育成研修会を開催するとともに、専門家派遣を通じた課題解決を図っていきます。 ・食育を推進する上で中心的な役割を担う市町村に対して、食育推進計画の策定を促進するとともに、第3次千葉県食育推進計画に基づき食育に携わるボランティアやサポート企業に対し研修会や地域食育活動交換会を実施することでこれらの活動を支援し、県内の食育の取組を広げていきます。

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	2 多様な人々の参画による農山漁村の多面的機能の維持・発揮		取りまとめ担当課	農林水産部農林水産政策課	取組コード	Ⅲ-4-②-2
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	2,040,856	2,052,568			
	決算額(千円)	1,737,448				

行政活動目標 (output)	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況
	農村の持つ多面的機能の維持・発揮を図るため農業者等が共同で取り組む活動面積(累計)	28,090ha (28年度実績値)	29,500ha (29年度目標値)	29,085ha (29年度実績値)		未達成
企業や団体等が協定に基づき整備・保全する森林面積	305ha (28年度実績値)	312ha (29年度目標値)	330ha (29年度実績値)		達成	
漁業者等が取り組む干潟、藻場等の環境・生態系保全活動面積(累計)	2,998ha (28年度実績値)	6,000ha (29年度目標値)	6,291ha (29年度実績値)		達成	

主な実施事項と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・45市町村496組織で多面的機能支払交付金事業[*]を行い、地域の共同活動により農地や農業用排水路などの地域資源の保全管理を行いました。また、水利施設が持つ多面的機能への理解を促進するため、管理者である土地改良区と地域住民との間で施設管理などに係る合意形成を図る取組などを支援・推進しました。 ・企業や里山活動団体の森林整備活動により、津波や松くい虫の被害を受けた海岸マツ林の再生、放置された里山林の整備等が進みました。 ・藻場、干潟等の保全等、漁村の多面的機能を発揮させるため、地域住民等とともに漁業者が行う干潟の客土、耕うん、機能低下を招く生物の除去などの取組を支援しました。また、漁村や漁港の環境保全を図るため、大型ごみの撤去処分、排水施設の改修など漁港施設の適切な維持管理等を実施しました。 <p>※多面的機能支払交付金事業:農業者等が共同で取り組む、地域資源の保全管理活動を支援する事業のことです。</p>
取組推進に当たっての問題点等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の共同活動に取り組む組織数は増えましたが、新規設立組織は小規模組織が多いため、活動面積は当初の見込みほど伸びず、目標を下回りました。 ・都市部を中心に農家以外の住民との地域の共同活動への参加の合意形成が図りにくい状況です。また、会計処理等の事務負担により活動組織の運営に支障が出ています。 ・里山活動団体の構成員の高齢化などにより、里山整備活動の継続が困難な場合が生じています。 ・漁業者数の減少や高齢化の進展により地域の共同活動が低調となり、河川からの流竹木の流入等により、漁港漁村が有する藻場、干潟等の保全などの多面的機能が低下しています。

<p>問題点を踏まえた 目標達成等に 必要な課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農家のみでも活動組織の設立が可能となったことについて、農家へ周知を図り、地域活動の幅を広げ、地域住民を巻き込む必要があります。また、活動組織の広域化による専任事務員の設置や土地改良区への事務委任の促進が必要です。 ・里山活動団体の継続的運営に向けた支援が必要です。 ・引き続き、地域住民等とともに漁業者が行う多面的機能の効果的・効率的な発揮に資する取組を支援することにより、漁村の活性化等を図ることが必要です。
<p>課題を踏まえた 具体的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への多面的機能支払交付金事業の周知をはじめ、土地改良区等関係機関との連携を強化し、新規活動組織の設立や活動面積の拡大を図ります。 ・里山活動団体の新たな構成員の確保に向けて、関係団体と協力して普及・啓発事業を実施します。 ・水産業・漁村の多面的機能を発揮させる漁業者等の活動を支援するとともに、漁港漁村における適切な維持管理や環境の保全のため、周辺関係者と協議を行いながら、漁港管理事業を引き続き推進します。

総合計画政策評価帳票
(様式2-2)主な取組評価シート

取組名	3 耕作放棄地と有害鳥獣被害への対策強化		取りまとめ担当課	農林水産部農林水産政策課	取組コード	Ⅲ-4-②-3
予算額と決算額	年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	予算額(千円)	665,913	828,246			
	決算額(千円)	529,821				

	指標名	現状値	目標	実績値	グラフ	達成状況																														
	補助指標 (中間outcome)	農用地区域内における荒廃農地の解消面積(累計)	352ha (27年実績値)	651ha (29年度目標値)	未判明 (30年10月頃判明)	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>H27</td><td>352</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td>412</td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td></td><td>651</td></tr> </table>	年度	実績値	目標値	H27	352		H28	412		H29		651	未判明																	
年度		実績値	目標値																																	
H27	352																																			
H28	412																																			
H29		651																																		
補助指標 (中間outcome)	有害鳥獣における農作物被害金額	465百万円 (28年度実績値)	減少を旨します (29年度目標値)	372百万円 (29年度実績値)	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>H23</td><td>389</td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td>345</td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td>346</td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td>381</td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td>393</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td>465</td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td>372</td><td>465</td></tr> </table>	年度	実績値	目標値	H23	389		H24	345		H25	346		H26	381		H27	393		H28	465		H29	372	465	達成						
	年度	実績値	目標値																																	
H23	389																																			
H24	345																																			
H25	346																																			
H26	381																																			
H27	393																																			
H28	465																																			
H29	372	465																																		
行政活動目標 (output)	国や県の事業を活用して耕作放棄地対策に取り組んだ地区数(累計)	22地区 (28年度実績値)	40地区 (29年度目標値)	37地区 (29年度実績値)	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>22</td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td>37</td><td>40</td></tr> </table>	年度	実績値	目標値	H28	22		H29	37	40	未達成																					
	年度	実績値	目標値																																	
	H28	22																																		
	H29	37	40																																	
行政活動目標 (output)	イノシシ等有害鳥獣被害防止対策における防護柵の延長(累計)	2,783km (28年度実績値)	2,883km (29年度目標値)	3,017km (29年度実績値)	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>H22</td><td>1,192</td><td></td></tr> <tr><td>H23</td><td>1,494</td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td>1,760</td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td>2,100</td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td>2,200</td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td>2,400</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td>2,550</td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td>2,783</td><td>2,883</td></tr> </table>	年度	実績値	目標値	H22	1,192		H23	1,494		H24	1,760		H25	2,100		H26	2,200		H27	2,400		H28	2,550		H29	2,783	2,883	達成			
	年度	実績値	目標値																																	
H22	1,192																																			
H23	1,494																																			
H24	1,760																																			
H25	2,100																																			
H26	2,200																																			
H27	2,400																																			
H28	2,550																																			
H29	2,783	2,883																																		
行政活動目標 (output)	ニホンジカの捕獲数	5,072頭 (28年度実績値)	生息状況を 勘案しながら 捕獲します (29年度目標値)	6,248頭 (29年度実績値)	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>H21</td><td>1,860</td><td></td></tr> <tr><td>H22</td><td>2,205</td><td></td></tr> <tr><td>H23</td><td>2,670</td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td>3,276</td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td>2,721</td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td>3,601</td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td>4,465</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td>5,072</td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td>6,248</td><td>5,072</td></tr> </table>	年度	実績値	目標値	H21	1,860		H22	2,205		H23	2,670		H24	3,276		H25	2,721		H26	3,601		H27	4,465		H28	5,072		H29	6,248	5,072	達成
	年度	実績値	目標値																																	
H21	1,860																																			
H22	2,205																																			
H23	2,670																																			
H24	3,276																																			
H25	2,721																																			
H26	3,601																																			
H27	4,465																																			
H28	5,072																																			
H29	6,248	5,072																																		

<p>主な実施事項と 成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> •野生鳥獣による農作物等の被害対策のため、市町村が行う捕獲事業に対する支援及び県による指定管理鳥獣(イノシシ及びニホンジカ)の捕獲、有害鳥獣の効果的な防除に必要な調査・研究や捕獲の担い手の養成・確保などに関係機関・団体等と連携を図りながら取り組みました。 •イノシシなどの有害鳥獣対策については、捕獲用わな(22市町で644基)や防護柵の設置(17市町で235km)に対する助成のほか、集落ぐるみで行う捕獲・防護や、餌となる収穫しない農作物の処分や耕作放棄地の解消など、集落にイノシシを寄せ付けない環境づくりについて支援する事業を5集落において行いました。 •捕獲したイノシシは、ジビエとして有効活用に取り組み、1月から2月にかけて県内45店、都内2店でジビエフェアを開催するなどジビエ料理の知名度向上を図りました。
<p>取組推進に 当たっての 問題点等</p>	<ul style="list-style-type: none"> •担い手は耕作放棄地よりも、他の条件の良い農地を借りる傾向にあります。また、地域の農業の方向性についての合意形成に時間を要したことから、指標「国や県の事業を活用して耕作放棄地対策に取り組んだ地区数」は目標に届きませんでした。 •野生鳥獣の被害対策の成功例が限られており、ノウハウが十分に蓄積されていません。また被害地域が県北部へと拡大しています。 •ジビエについては、消費者の認知度がまだ低い状況にあります。
<p>問題点を踏まえた 目標達成等に 必要な課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> •耕作放棄地の解消に向けて関係機関との連携を図り、地域の機運を高めていくことが必要です。 •耕作放棄地、耕作放棄地となるおそれのある狭小な農地、排水の悪い農地などの耕作条件の改善による農地の生産基盤の強化が必要です。 •野生鳥獣の被害対策について、防護柵や捕獲用わなの設置だけでなく、地域ぐるみで行う生息環境管理など一体的な取組が必要です。 •ジビエの消費喚起につなげるため、ジビエの更なる認知度向上に向けた取組が必要です。
<p>課題を踏まえた 具体的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> •農家の負担が大きい耕作放棄地の再生作業や発生防止活動を支援するとともに、地域の耕作放棄地対策を推進する農業委員会等との連携を強化するなど、取組を支援します。 •野生鳥獣の被害対策について、地域ぐるみで行う対策を新たに9地区で実施するほか、被害が甚大で自主的に対策に取り組む機運がある地域をモデル地域として2箇所程度設定し、専門職員による現地指導を行い、その成果を広域的に普及します。さらにイノシシの棲み家となる耕作放棄地の刈払いに対し新たに支援します。 •昨年度に引き続き、ジビエに関する講習会やフェアを開催するほか、新たにジビエ料理のコンテストを開催します。